



御前崎みなと夏祭

①会場には新型コロナウイルス感染症対策のため検温所が設けられた②屋台で購入した食べ物を食べながら話を弾ませる来場者③来場者で溢れる会場④食べ物を購入しようと屋台に行列をなす来場者⑤堤防に座り花火の打ち上げを待つ人たち⑥浴衣姿で夏祭を味わう女性⑦カキ氷にかぶりつく子ども⑧お小遣いでくじ引きを引く子ども



「御前崎みなと夏祭」が8月6日、マリナーパーク御前崎で3年ぶりに開催され、約4万1千人が会場に足を運びました。新型コロナウイルス感染症対策のため、ステージイベントや盆踊り、航海の安全を祈願する伝統行事「だつくら」を中止するなど、例年に比べ、規模を縮小した開催となりました。

イベントは17時から始まり、「うまいみさき屋台村」では、市内の企業や飲食店など36店舗が食べものなどを提供しました。メインイベントの花火の打ち上げは19時45分にスタート。打ち上げられた尺玉やスターマインなど約3千発の花火が御前崎の夜空を彩る様子はまさに圧巻の光景でした。花火が打ち上がると、「きれいだね」「久しぶりに見ることができてうれしい」と喜ぶ声が会場から次々と聞こえてきました。中には、「ドーン」と響きわたる轟音を体感し、驚きを隠せない子どもたちの姿も見られました。

3年ぶりに開催された御前崎の夏の風物詩「御前崎みなと夏祭」。来場者は「来年も御前崎の花火を見たいね」と余韻に浸りながら会場を後にしました。